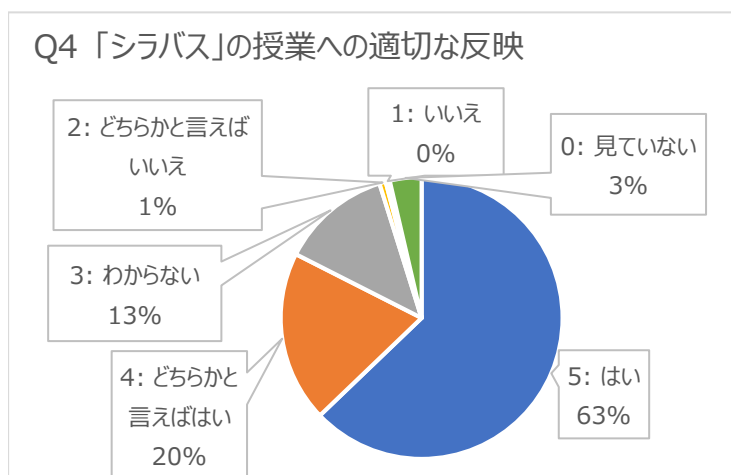
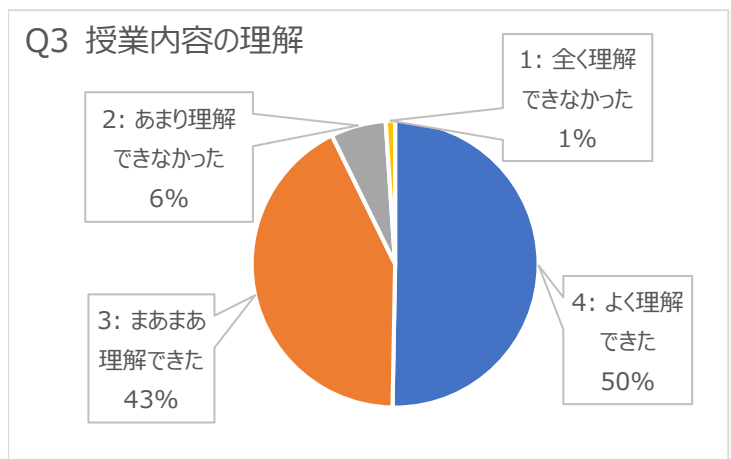
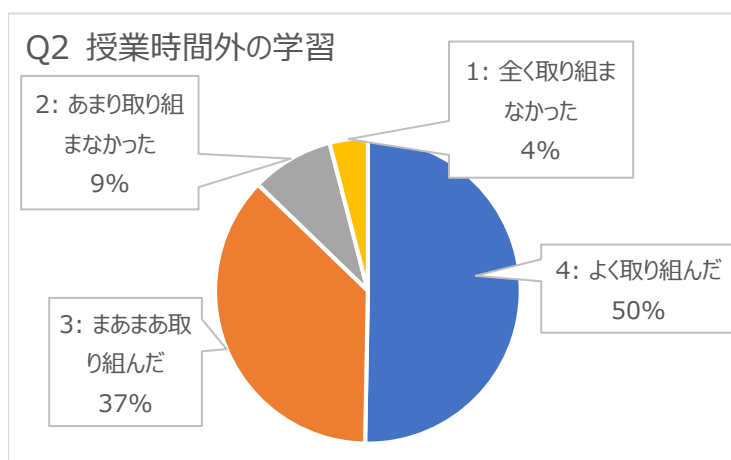
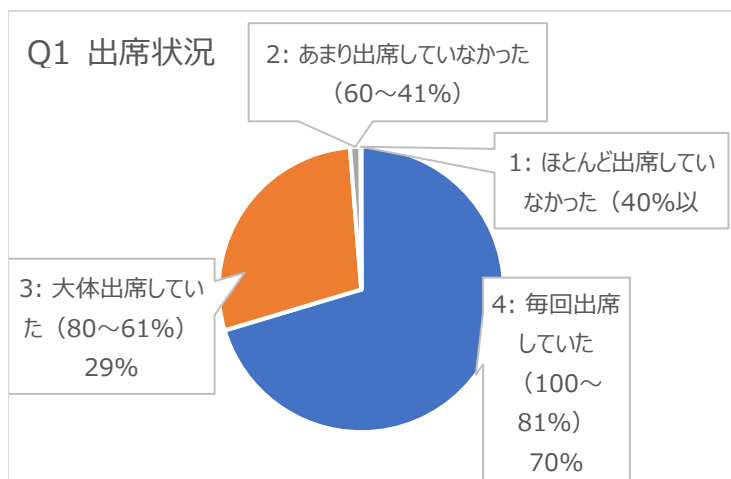


2021 後期授業アンケート 全体概要



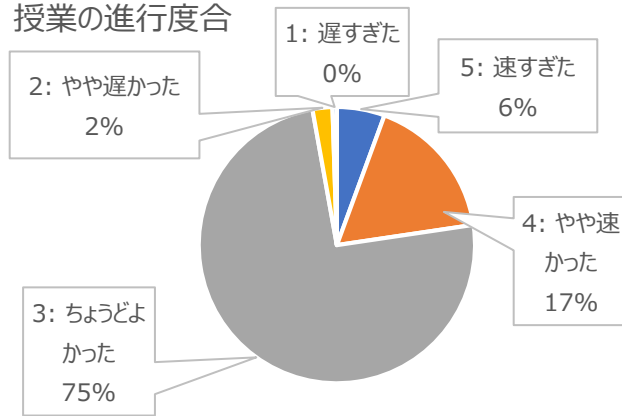
【実施概要】

1. 目的：学生の授業の理解度、授業運営方法の有効性などを把握し、担当教員の授業改善に役立てる。
2. 対象科目：履修者が5名以上の全科目 (186科目：専任 115科目、非常勤 71科目)
3. 調査方法・項目：
 - Google Formによるwebアンケート
 - 11項目 (うち自由記述1項目)
- ・科目ごとに開始時間5分前に履修学生宛にURLを配信
- ・担当教員から当該授業開始時に回答を依頼
4. 調査期間：12月13日(月)～24日(金)
5. 回答状況：延べ2750件の回答
6. 回答率*：()は前期
 - ・全体 59.5% (57.0%)
 - ・専任 66.0% (57.0%)
 - ・非常勤 48.8% (57.0%)
 - ・最低回収率 4.0% 最高回収率 100.0%
- *担当教員からの授業開始前の説明など、実施方法の影響の可能性もある。

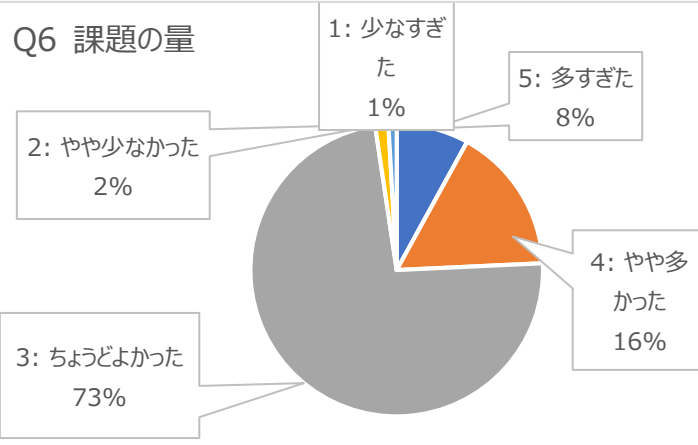
【全体概要】

- ・「授業の進行度合」や「課題の量」については、3/4の学生が「ちょうどよかった」と回答。25%は改善の余地がある。
- ・「総合的な満足度」やそれに関連した教員の働きかけについては、概ね95%前後の学生が満足している。
- ・開智の特徴ある教育については、積極的に取り組まれている様子が伺える。特に、遠隔(ハイブリッド)授業を行った前期と比較して、グループワークやプレゼンテーションの実施率が増加し、英語科目以外の科目での英語による説明が大幅に増えて、約70%が多かったと回答した(詳細分析結果より)。ICT機器を活用している授業も全体の約80%となっている。

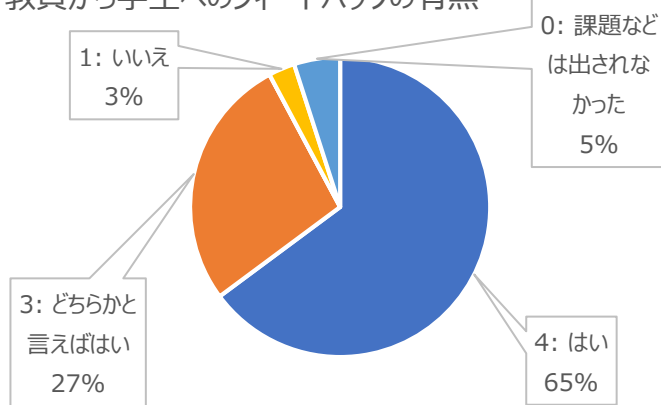
Q5 授業の進行具合



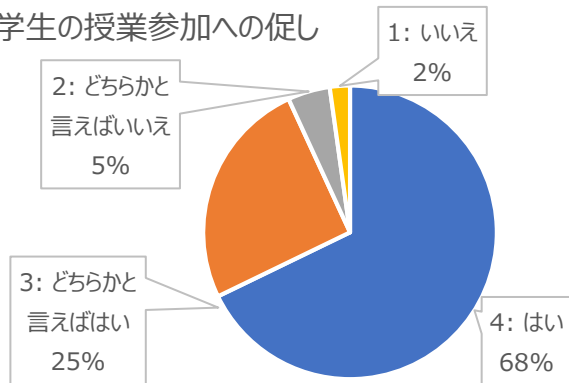
Q6 課題の量



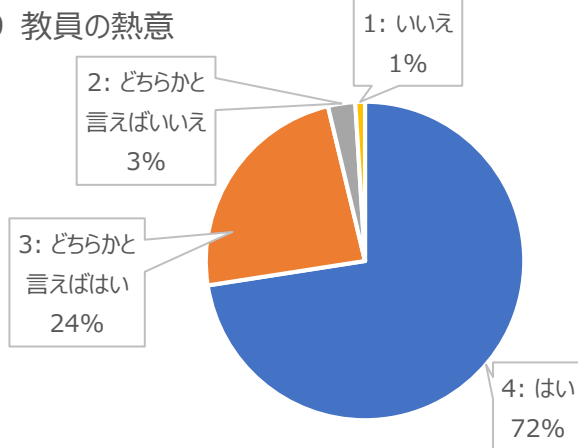
Q7 教員から学生へのフィードバックの有無



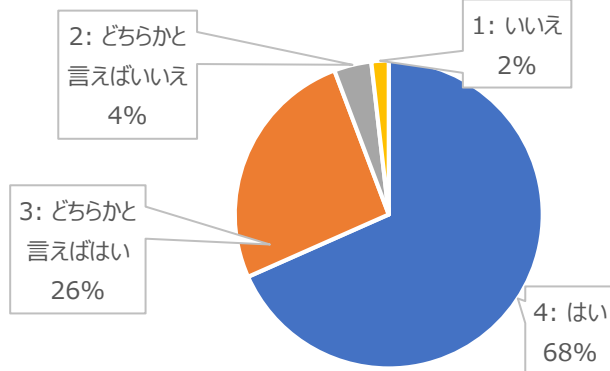
Q8 学生の授業参加への促し



Q9 教員の熱意

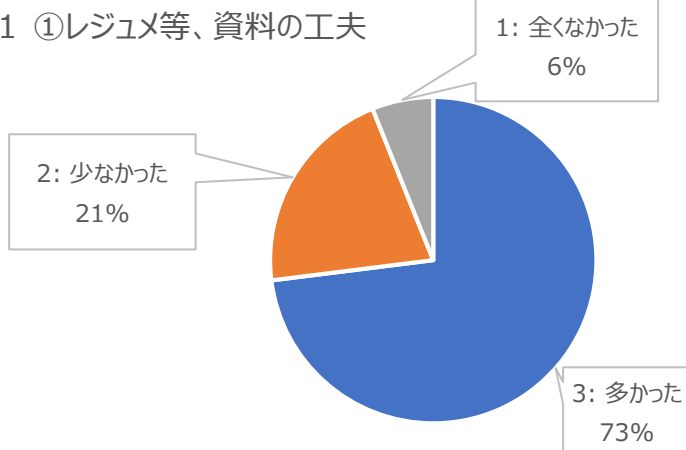


Q10 総合的満足度 (意義ある授業)

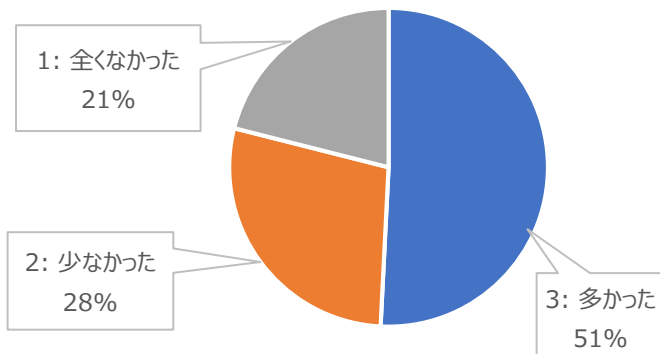


Q11: 開智式教育にもとづく授業方法

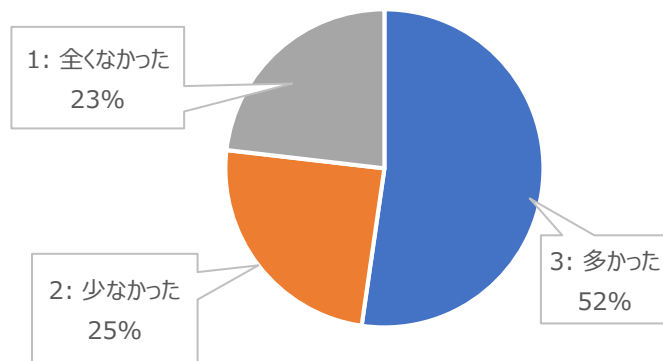
Q11 ①レジュメ等、資料の工夫



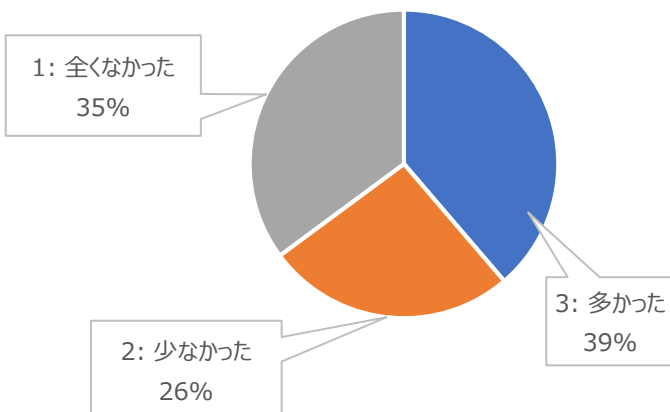
Q11 ②ディスカッション



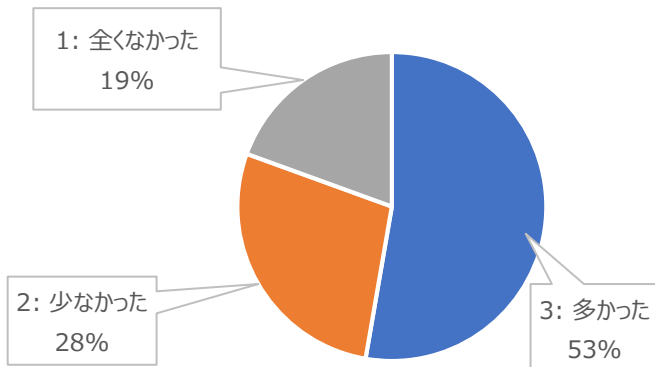
Q11 ③グループワークやペアワーク



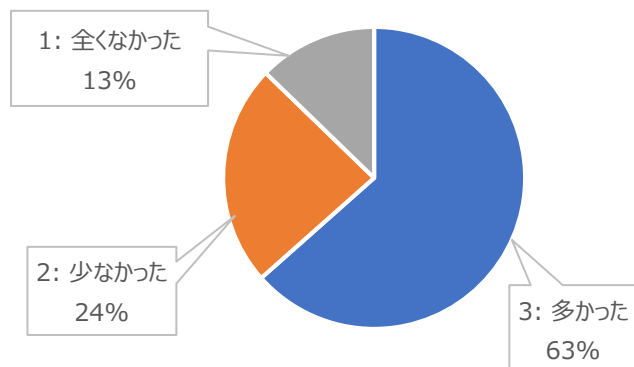
Q11 ④プレゼンテーション



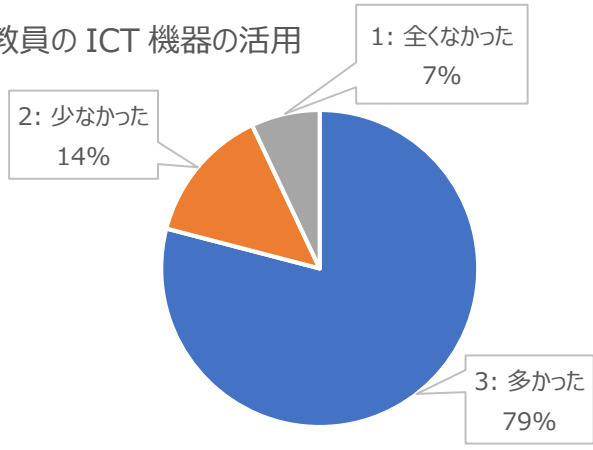
Q11 ⑤PC やタブレットの使用



Q11 ⑥ビデオ（動画）やビジュアルの工夫



Q11 ⑦教員の ICT 機器の活用



Q11 ⑧教員の英語による説明（英語科目除く）

